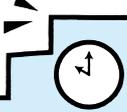


共に学ぶ



学校へ行こう

ふくだ やすひこ
 校長 福田 安彦

全校生徒数 308人
 男子:153人 女子:155人

問合せ ☎62-0119

深清小

自分たちの手で！農業体験

深清小学校の5年生は、ナスと米作りを行っています。ナスは連作を好まないため、昨年の位置とは変えて今年はビオトープで、米は昨年のナス畑を利用して作ることにしました。

台風にも負けないナス作り

4月半ば、春の光を受けながら気持ちよく回る水車のすぐ隣でナス畑の準備を始めました。地域のナス名人の山本さんと三浦さんに教えてもらいながら、肥料まきや畝作り、マルチシートをかぶせる作業を体験しました。



▲支柱のさし方を教わる

5月7日は苗の植えつけ作業。苗が接ぎ木である話も聞きました。苗が二種類の植物でできているのに驚きました。食用のナスでは根が弱くて病気などにかかりやすくなってしまうようです。だから、ちがうナス科の植物の根にして健康なナスにしているそうです。

(児童の授業日記より)

子どもたちは、毎朝登校するとすぐにナスの様子を見に行き、かわいいつぼみや紫色の花を見つけては喜び、収穫を心待ちにしました。順調に収穫が始まりましたが、6月20日、ナス畑を台風が襲いました。

台風で葉が落ちたり傷んだりしました。それで小さいナスもつちやいました。その後、落ちていた葉を拾いました。かなり葉が落ちていて大変でした。くきが折れていたりしていたのでこの先、ナスが生えてくるのか心配です。

(児童の授業日記より)



▲台風後の手入れ

山本さんや三浦さんに助けももらいながら、子どもたちが心を込

めて世話を続けた結果、今はナスの葉が畑いっぱい広がっています。みずみずしく、つややかなナスの実があちこちにぶらさがっていて、おいしそうですよ。

米作りにも挑戦！

体を動かして、自分たちで考えて遊び場を作ることが好きな子どもたち。社会の教科書の米作りの写真を見て、



▲力を合わせて田んぼ作り

「今年使わないナス畑を田んぼにしてやってみる？」の言葉に「やるやる。」の元気な声。水が漏れないようにするにはどうしたらいいんだろうというところから田んぼ作りが始まりました。

5年生は、田んぼを作ろうとしています。そのためには、いろいろなことをしました。土をほったり、シャンプして固めたりしています。おいしいお米ができると思うのでとても楽しみです。

(児童の授業日記より)

今、深清小学校の田んぼでは、稲が青々と気持ちよさそうに風にそよいでいます。「あいちのかおり」が黄金色に輝き始めるのも、もうすぐです。

画伯登場

荻谷小学校



3年
こばやし
小林 もも さん

先生から 左から右へ手のひらを返したような形がいいですね。のび上がるような感じがあります。筆の使い方を工夫して、ごつごつした樹皮の様子が出せました。



ぼこぼこの木
【水彩画】



3年
おかだ あきふみ
岡田 旭史 くん

先生から 地面から力強く空に向かってのび上がる木の様子がよく表れています。「のびるのびる」の題名どおり、幹も枝も太くて元気のよい絵になりました。



のびるのびる
大きな木
【水彩画】

農家レストラン葉菜の舎

中学生

職場体験 レポート



『大切なこと』 職場体験実施日：平成24年6月12日・13日・14日

私は今回の職場体験学習で学んだことがたくさんあります。私は「農家レストラン葉菜の舎幸田店」にお世話になりました。そこでは、血洗いや接客、調理をさせていただきました。特に、「接客はお客さまに対して笑顔で接することが大切」だとお店の人に教わりました。しかし、始めは戸惑ったり、分からなかったことが多かったり、緊張していたこともあり、お客さまに対して困った表情を見せてしまいました。このままではだめだと思い、分からないことは積極的にお店の人に聞いて、少しでもお店の人に近付けるように努力しました。

きて、どんどん仕事が楽しくなっていました。接客も自然と笑顔になれて、私の笑顔を見てお客さまも優しい笑顔を向けてくださいました。その時は、本当にうれしくて温かい気持ちになりました。仕事をするとということとは簡単なことではないけれど、働いていることが分かることができました。お店で働いている人たちは、みんなそのことを知っているのだと思います。お店の人たちは仕事をしています。お店の人たちは仕事をしています。お店の人たちは仕事をしています。



きなことをしているという雰囲気でした。だから、このお店の料理を食べると自然に笑顔になるのだと思います。とても大切なことを学ぶことができました。私の将来の夢はバレーリーナです。どんなに苦しい時があっても、観客を幸せにすることができると、私も楽しんで練習に励みたいと思います。



北部中 2年
おかもと さや
岡本 紗弥さん

町民会館・図書館・町民プール ハッピネス情報

ハッピネス・ヒル・幸田
ホームページ

<http://www.happiness.kota.aichi.jp/>

万々に備えた家族へのメッセージ 専門家とつくるエンディングノート講座～相続を中心に～

とき 9月30日(日) 午前10時～11時30分
ところ 町立図書館2階 学習閲覧室
講師 司法書士 三浦 克典 氏
対象 どなたでも 定員 36人
受講料 1,500円(ノート代込み)

申込み 9月15日(土) 午前9時から、受講料を添えて図書館でお申し込みください。*エンディングノートとは、万一のことがあった時に備えて、延命措置・介護・相続・葬儀についての希望を書いておくものです。



この本読みました

ぼくらの七日間戦争

宗田 理/作 角川書店



豊坂小6年
かのう みなみ
加納 美波さん

この本は「ぼくらシリーズ」の最初の本です。難しいことでも、仲間と協力し合えば乗り越えられることを教えてくれる本だと思いました。自分以外の人のことを受け入れるのは、すごく大事ななあと思える本です。

9・10月の休館日 (9/16～10/15)
町民会館(☎63-1111) 9/18(火)、9/24(月)、10/1(月)、10/9(火)、10/15(月)
図書館(☎63-0001) 9/18(火)、9/24(月)、10/1(月)、10/9(火)、10/15(月)
町民プール(☎56-8111) 9/18(火)、9/24(月)、10/1(月)、10/9(火)、10/15(月)